

第 11 回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会

理事会

日時：令和 8 年 1 月 29 日(木)19 時より

場所：岩村コミュニティセンター 2 階大会議室

1. あいさつ

2. 議題

・承認事項

- (1) 課題No.2 校歌の制定について
- (2) 課題No.15 学校運営協議会の組織運営に関する事
- (3) 課題No.18 生徒会に関する事

・その他

3. その他

中学校統合準備にかかる
課題整理シート

番号	課題	課題整理状況	担当部会
1	新中学校の名称について	済	総務部会
2	校歌の制定について	○	
3	校章の制定について	済	
4	校訓等の制定について	済	
5	制服・体操服・かばん・上履きについて	済	
6	閉校記念式典について	済	
7	開校記念式典について	済	
8	広報活動に関すること	適切な情報提供を随時行うため、準備室だよりや工事進捗のHPへの掲載等、継続して広報活動を行う。	
9	校舎の増築、改修に関すること	済	環境整備・PTA・コミスク部会
10	通学路の安全に関すること	済	
11	スクールバスの運行に関すること	済	
12	看板、案内標識の整備に関すること	済	
13	部活動に関すること	済	
14	PTAの組織運営に関すること	済	
15	学校運営協議会の組織運営に関すること	○	
16	教育課程等、教育内容に関すること	済	教育活動・学校事務部会
17	学校行事に関すること	済	
18	生徒会に関すること	○	
19	交流事業に関すること	済	
20	学校備品、教材備品の整理に関すること	済	
21	学校図書に関すること	済	
22	保存文書等の整理に関すること	済	
23	予算計画に関すること	済	

※○印＝理事会に提案する課題



1. 令和6年1月 総務部会において、校歌の必要性などを検討する。

- > 「校歌は制定すべき」という意見が多数。
- > 新中学校の一体感を象徴するものとして校歌は重要。
- > 作詞・作曲者は、恵那市にゆかりのある人物が望ましい。
- > 歌詞やイメージに生徒の意見を取り入れるべきとの共通認識。

2. 令和6年10月 理事会において、事務局を中心に委託先を決定する方針を確認。

3. 令和6年12月 事務局で検討の結果、岡田如実氏を選定。

選定理由

- > 恵那南地区出身で、山岡小・中学校の卒業生として地域の文化や教育環境を理解している。
- > 声楽家として活動し、合唱指導においても豊富な実績がある。
- > 恵那高校合唱部への指導や市内でのコンサート開催など、地域での音楽活動実績が豊富。

4. 令和7年3月 小中学生対象に「新しい中学校に望むこと」に関するアンケートを実施し、結果を岡田如実氏へ提供。同時に学校訪問（山岡中学校）を行う。

アンケート結果 > 「楽しい学校」「温故知新」「合唱」など、幅広い意見が寄せられた。

5. 令和7年5月 岡田如実氏と校歌制作業務委託契約を締結。完成期限は令和7年10月31日。

6. 令和7年11月 完成した校歌を総務部会にて確認。今後、理事会・総会に提案。

校歌『心のままに』に込めた思い

五つの中学校が一つとなるこの節目に、生徒一人ひとりの歩みと心に寄り添う歌として生まれました。それぞれの学校で育んできた思いは、新しい学校の力となり、共に学ぶ仲間としての絆へとつながっていきます。不安や迷いを抱きながらも、自分の道を自分のリズムで歩いていくこと。この校歌が、生徒たちの原点となり、未来へ進む力を静かに支えてくれることを願っています。

7. 令和8年3月 開校式(4/7)で校歌を斉唱するため、各学校で岡田如実氏による歌唱指導を実施。



恵那南中学校校歌 心のままに

作詞・作曲 岡田如実

一
やわらかな若葉が 芽吹く季節
僕ら出会う 高く広く青い空
朝日に染まる教室に
希望の音 響いてくるよ

心のままに
夢見る何かを探し求め
迷いながらも
信じる扉 開くんだ
僕らの明日が ここから始まる

二
飾らない強さが 本当の輝きさ
昨日よりも もっと強くなれるから
どんな景色も この目で見てみよう
未来はほら この手の中に

心のままに
自分のリズムで進めばいい
迷いながらも
信じる扉 開くんだ
世界はきつと 僕らを待っている
心のままに

【岡田如実氏 プロフィール】

- ・山岡町出身
- ・声楽家、合唱指揮者、ヴォイストレーナー
- ・武蔵野音楽大学声楽科卒業
- ・一流音楽家との共演や多岐に渡る演奏家を郷里に招く文化事業にも貢献。コールONE(大垣市)、コーラス・アンダンテ(安八町)等の指揮者を務め、全日本合唱コンクールグランプリ(岐阜県大会)、宝塚国際室内合唱コンクール出場、アンサンブルコンテスト全国大会(福島県)出場など、多くの実績を導く。

1. 令和6年10月 環境整備・PTA・コミスク部会において、学校運営協議会の仕組みづくりなどを検討する。

学校運営協議会とは

- 地域住民や保護者等の意見を、学校運営に反映させるための協議や基本方針の承認を行う、学校運営の強化を図るための仕組み。

委員の構成(南地区5中学校の例)

- 地域自治会の代表、地域活動団体等の方、地域学校協働活動推進員、PTA会長、振興事務所長、学校長などで構成され、10名程度。

活動組織の内容(南地区5中学校の例)

- 学習支援、地域貢献活動支援、安心・安全支援、環境整備支援など。

- 恵那南中学校の学校運営の基本方針等を基にして、学校運営協議会の仕組みを立案していく。

<まとめ>

- 学校側(事務局)で組織や活動についての提案をしてもらい、部会で判断するとした。

2. 令和7年1月 理事会において、学校側(事務局)で組織や活動についての提案をする方針を確認。

3. 令和7年12月 事務局で検討した提案を基に、環境整備・PTA・コミスク部会で協議を行う。

協議の結果、次のとおり取りまとめを行い、部会(案)とした。

- 基本的な活動の考え方
- 学校運営協議会委員の構成
- 活動組織(部会)の考え方

基本的な活動の考え方

・学校運営の基本方針や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の方々が当事者として関わることで、地域とともにある学校づくりに取り組んでいく。

学校運営協議会委員の構成

・委員は、5つの地域をつなぐ役割が必要と考え、また、協議会の構成人数が過大とならない人数とする。

地域学校協働活動推進員 (各地域1人)	5人	地域住民を代表する方として、従来より地域と小中学校との連携・協働を行っている
市の振興事務所長 (各地域1人)	5人	関係行政機関の職員を代表する方として、各地域を把握している
生徒の保護者を代表する方	1人	恵那南中学校PTA会長を想定
恵那南中学校長	1人	学校を代表する方

合計 12人

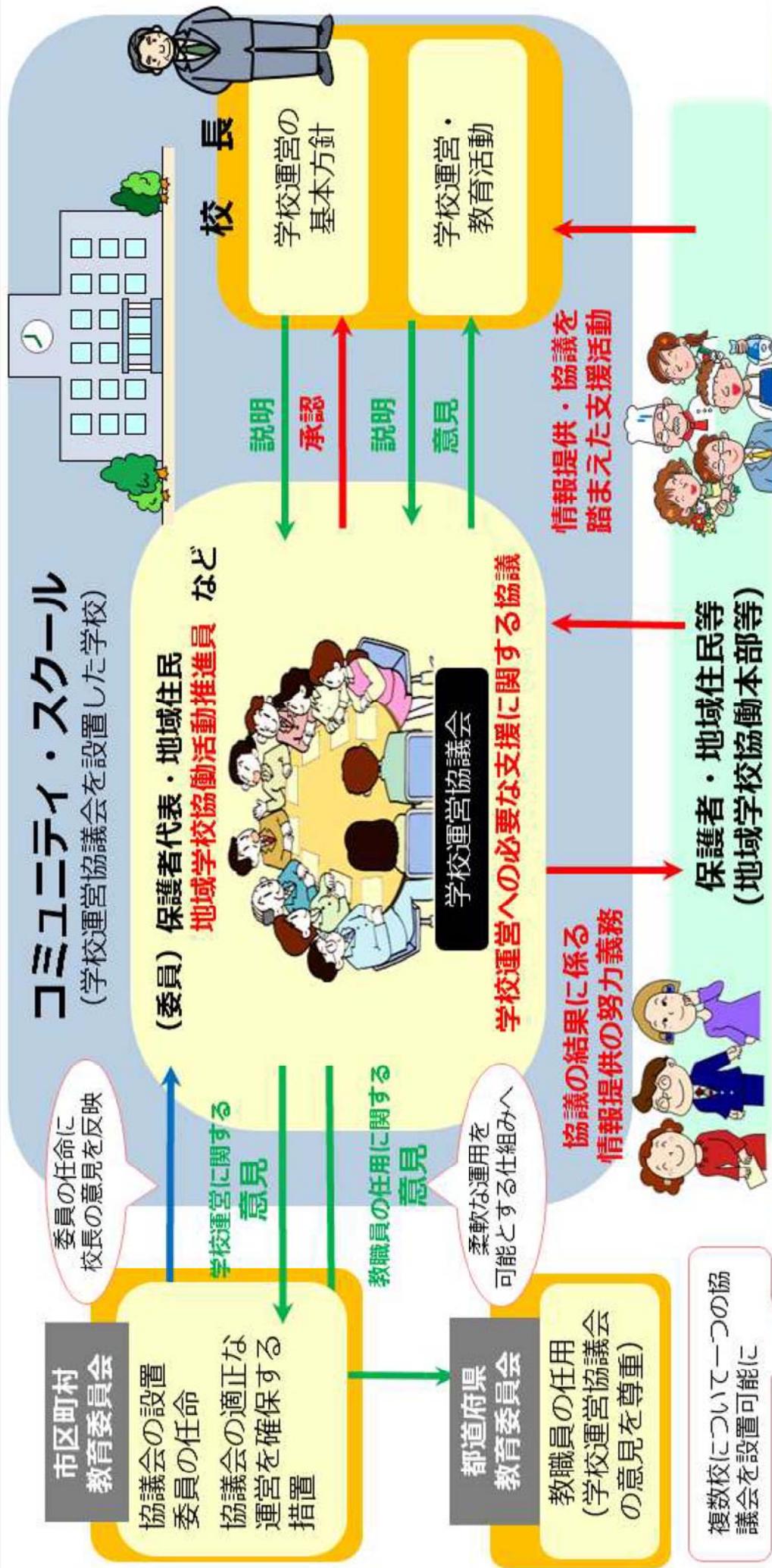
※ これは令和8年度の開校時の委員構成としてスタートする。

活動組織(部会)の考え方

・活動組織は、開校後に学校と地域が望ましいと考える活動を立案する中で、必要とされる組織(部会)を検討し、作り上げていくとする。

(2) 課題No.15 学校運営協議会の組織運営に関すること

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



＜学校運営協議会の主な役割＞

地教法第四十七条の五

教育委員会が、学校や地域の実情に応じて学校運営協議会を設置

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができること



小一・一曹型小・中学校など

これまでの協議の経緯

日にち	内容
令和5年6月16日 第2回部会	課題整理シートの内容（協議事項や必要となる事項）を確認
令和6年2月29日 第6回部会	生徒会交流の計画を報告 ※子供たちの意見が反映されていくとよいという意見
令和7年2月12日 第10回部会	生徒会交流で検討されている内容を報告 ※令和7年度は5校の委員会の内容を揃えない ※令和8年度の生徒会役員の決め方は、令和7年度の生徒会中心に話し合っていく
令和7年8月20日 第14回部会	<ul style="list-style-type: none">・生徒達の『こうしたい』という思いを大切にしたい決め方・5地区を大切にしたい役員選出・日常の生活班とつながる委員会 →生徒達の案が、これらを踏まえたものになっているか12月に部会で審議することを確認

生徒会交流での話合いの経過

日にち	内容
1学期	リモート生徒会交流（3年生役員） ※令和8年度に向けた話合いは2年生中心に行うことを決定
1学期末	リモート2年生代表者会立ち上げ ※「生徒会や委員会の在り方」「令和8年度に向けた役員の決め方」について話し合っていくことを確認
2学期	リモート2年生代表者会の継続した実施
11月11日	恵那南地区5校交流会事業（2年生） ※5校2年生全員で「必要な委員会」「生徒会執行部・委員長の選出」についての考えを交流
11月12日～ 11月28日	交流会の話合いを受け、リモート2年生代表者会で「生徒会組織（案）」「生徒会執行部選出のしかた（案）」の作成

11月11日 恵那南地区5校交流会事業(2年生)

〈話合いの内容〉

- ・「必要な委員会」
- ・「生徒会執行部・委員長の選出」

〈必要な委員会〉

- ・「これまでの5校の取組」を大切にする。
⇒それぞれの学校で、どのような委員会がどのような活動を行ってきたかを20の小グループに分かれて話し合った。（「やってよかったこと」「恵那南中でも続けたいこと」「やらなくてもよい」と思ったこと。）その上で、必要な活動を洗い出した。

〈生徒会執行部・委員長の選出〉

- ・現段階での立候補したいと思っている生徒の把握
⇒同じ学校で、複数人立候補しそうな学校があることが分かった。
- ・生徒会執行部・委員長選出に対する思いの把握
⇒立候補者の思いをしっかりと聞きたい。また、学校規模によって、当選の有利・不利を生み出さないために、入学後に選挙を行いたい。

第2回 中学校交流事業(2年生)

日時:11月11日(火) 9:40~

会場:岩邑中学校

内容:実践女子学園との交流に向けた打合せ会
恵那南中学校開校に向けた意見交流会



生徒会組織 案

〈生徒会執行部と8委員会〉

学習委員会、生活委員会、図書委員会、給食委員会
健康委員会、環境委員会、合唱委員会、放送委員会

〈8委員会の選定方法〉

これまで5校で行ってきた活動や仕事、役割から必要な活動を精査し、分類・整理し8つにまとめた。

〈その他〉

各学級で各委員を1～2名選出

生徒会執行部・委員長の選出 案

〈選出方法について〉

- ・開校後、立会演説会を行い、全員投票の選挙による選出をする。

〈選出方法の理由〉

- ・「生徒会執行部や委員長へ立候補したい」という思いをもっている生徒が複数人いる学校がある。
- ・学校規模によって当選への有利・不利が起きないように、開校後、互いのことを知ったうえで選出する。

〈選挙についての配慮事項〉

- ・立候補者については、11月11日に話し合われた「これまでの5校の取組」を踏まえた公約や取組を考える。
- ・投票者についても、同じ視点で投票する。

生徒会執行部・委員長選出に向けたスケジュール

日にち	内容
3月	代表者会から生徒会や委員会について提案 生徒会執行部の定数確定
4月第3週	選挙管理委員会の発足
4月第4週	生徒会執行部・委員長 立候補受付期間
5月第3週	立会演説会 役員選出

〈学級組織について〉

- ・生徒会執行部・委員長決定後、5月第4週に学級組織の決定
- ※生徒会執行部・委員長決定までは、学級委員などは選出しない。その間、各学級の朝の会・帰りの会の司会は「日直」が務めるなど、仮の役割分担で生活する。

その他



○準備委員会の役割・活動の総括

統合の理念やコンセプトを踏まえた取組を通じ、恵那南中学校の円滑な開校に向けた準備委員会の役割・活動について、総括としてまとめていく。